

令和6年度 自己点検評価の概要

令和7年7月1日

横浜呉竹医療専門学校

目 次

項目 1	教育理念・目的・目標.....	1
項目 2	教育課程、教育の実施、学修成果	2
項目 3	学生の受入れ、学生支援	3
項目 4	教育実施組織・教員	4
項目 5	教育環境.....	5
項目 6	教育活動の基盤と改善・向上の取組	6

＜評定について＞

自己点検評価結果における評定は、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠しています。（評価結果は、基準を満たすかどうかではなく、基準を満たしているかを3段階で表示）

3 : 基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている

2 : 概ね基準を満たしている

1 : 基準を満たしておらず改善が必要

項目 1 教育理念・目的・目標

小項目	評価の基準	【評価結果の分析】	評定	評価の根拠資料
1 教育理念、 目的及び目 標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	本学園は、大正時代の設立より「伝統医療教育の質向上とその振興に努め、伝統医療を通じて人々の保健衛生福祉に寄与するとともに、伝統医学の更なる発展及び普及啓発に貢献する」ことを建学の理念に掲げ、伝統医療を通じて人々の健康の保持増進及び疾病・障害の治療を担うことのできる「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師」を育成するために、知識、技術、態度といった基本的臨床能力の修得に加え、医療従事者に相応しい倫理観やホスピタリティーの精神を涵養することで、患者貢献を実践できる人材育成を目指している。これら教育理念、目的、育成人材像、教育方針等は内規に定めるとともに、学校案内パンフレット、ホームページ、学生便覧等により広く周知を図っている。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・認可指定書 ・学則、教務規程 ・ディプロマポリシー ・学生便覧 ・入学案内 ・記念誌

項目2 教育課程、教育の実施、学修成果

小項目	評価の基準	【評価結果の分析】	評定	評価の根拠資料
1 教育課程の 編成と授業 科目	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	本校は、学則に基づき理念等の実現のため3学科5課程を設置し、カリキュラムポリシー及び教育課程編成委員会規則等の内規に従い教育課程を編成している。授業科目は教育内容を踏まえた上、学則別表にて学年毎に系統的に配置している。教育課程の編成にあたっては外部委員による教育課程編成委員会を開催し、社会や業界ニーズに適合する教育内容としている。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学則、教務規程 ・学生便覧 ・シラバス ・カリキュラムポリシー ・教育課程編成委員会規則 ・教育課程編成実施要綱
2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	授業は、指定規則等に定める教育内容を適切に教授するため、学則別表において講義・実習・臨床実習等を規定している。教材は公益社団法人が編纂した教科書等を使用し、成績評価については学則内規に明示し、規程に基づいて公正に実施している。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学則別表 ・シラバス ・教務規程
	②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。【注）職業実践専門課程】	本校は、職業実践専門課程認定校として企業等との連携に基づく授業を実施し、別紙様式4において企業等との連携による授業の実施時間数・実施単位数を明示している。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職業実践専門課程認定書 ・学則、教務規程 ・別紙様式4
3 単位・卒業 認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	単位・卒業認定にあたっては、ディプロマポリシーにおいて卒業認定方針を定めるとともに、その方針及び学則等の内規に基づいて認定を実施している。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学則、教務規程 ・ディプロマポリシー
4 学修成果目 標の達成状 況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	本校では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師及び柔道整復師の国家資格取得を目標に学科毎に卒業時の到達目標を定めている。また、これらを具体的に達成するための教育方針・シラバスを備え、教育目標の達成に取り組んでいる。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標、教育方針、卒業時到達目標を定めた書類 ・シラバス ・募集要項
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	学校運営方針において進路に関する数値目標を掲げ、就職活動の支援等により目標の達成を行っている。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営方針 ・進路調査結果

項目 3 学生の受入れ、学生支援

小項目	評価の基準	【評価結果の分析】	評定	評価の根拠資料
1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	学生募集ではアドミッションポリシーにより募集人材像を明確にするとともに、募集にあたっては神奈川県専修学校各種学校協会が定める入試倫理規程を遵守し、社会人学生の受入れも行っている。入学者の選考にあたっては入試委員会を設置し公正な判定を行っている。	2	・アドミッションポリシー ・入試委員会規程 ・募集要項 ・入試判定表
	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。【注）修学支援新制度機関連件の確認】	指定ガイドライン等を遵守し、入学定員を超えた募集は一切行われておらず適正である。	2	・入試結果一覧
2 自主的な学習の促進に対する支援	①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	自主的な学習の支援では、入学前授業、補習授業に加え、個別面談やモチベーション向上のためのキャリアガイダンスを実施している。円滑な学習支援ではシラバスや学生便覧を用いるとともに、学術大会等における研究発表により学生の主体的学習の支援を行っている。	2	・入学前授業出席簿 ・補習実施状況 ・面談記録簿 ・研究紀要 ・学術大会実施要綱
3 多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	多様な学生に対する支援では、社会人学生の受入れや合理的配慮が必要なケースでは事前に説明を行っている。	2	・社会人入試実績
4 学生生活に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	スクールカウンセラーとの業務委託契約に基づき、学生相談室を開設しカウンセリングを実施している。	2	・業務委託契約書 ・学生便覧 ・実施報告書
	②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	問題を抱える学生に対しては個別面談又は三者面談を行った上、職員会議で共有し対応策の検討や個別対応を行っている。	2	・職員会議（責任者会議）議事録 ・個別面談記録
	③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	学校保健計画を策定し、健康診断や感染症対策等を適切に実施している。	2	・学校保健計画 ・校医執務記録 ・健康診断実施記録
	④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	国の修学支援制度及び専門実践教育訓練給付制度の対象校になっている他、独自の分納・奨学制度を規定するとともに、予算を確保した上で適切に運用している。	3	・減免、奨学金規程 ・機関連件確認申請書 ・奨学金等利用者一覧
	⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	学内に就職支援作業部会を設置し、キャリアガイダンスや企業説明会等を開催するなど就職活動の支援を行っている。	2	・キャリアガイダンス開催記録 ・企業説明会報告書 ・進路調査結果

項目 4 教育実施組織・教員

小項目	評価の基準	【評価結果の分析】	評定	評価の根拠資料
1 教員の配置、募集、採用	① 教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	教員の募集・採用にあたっては、採用基準及び労働条件等を明示し、資格確認書類とともに面接選考により適性等の確認を行っている。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則 ・採用に係る資料
	② 教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数、等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	教員名簿により、常勤・非常勤、年齢構成、授業時数、担当科目等の必要な情報を管理している。また、授業評価アンケート及び人事考課制度により評価を行っている。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教員名簿 ・授業評価アンケート ・個人シート
2 教員の組織編成等	① 学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	教員の組織編成にあたっては、組織・運営規程及び組織・職制・業務分掌規則に基づいて実施されている。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・組織及び運営規程 ・業務分掌規則
	② 教員間で連携、協力体制を構築していること。	業務を円滑に行うため教務会を組織するとともに、定例ミーティング及び責任者会議により校務の進捗管理を行っている。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定例ミーティング議事録 ・責任者会議議事録
3 教員の資質の向上	① 学校の教育活動の改善、工夫を行う FD (Faculty Development) などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	呉竹学園教育センターにおいて FD 活動を展開するとともに、学術大会、教員研修会等の参加を通して教授力の向上を図っている。令和7年度から新たに FD・SD 推進本部を設置し、学園内の課題解決や DX 等との連携強化、研鑽会等を実施する。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等参加報告書 ・教育センター資料
	①-2 特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。【注）職業実践専門課程】	知見を有する企業等と連携して講師を派遣してもらい教育課程を編成している。また、企業等との連携による学外臨床実習を実施している。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等との連携に関する協定書 ・外部臨床実習契約書
	② 教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。【注）職業実践専門課程】	知見を有する業界団体等が開催する学術大会及び研修会等に組織的に参加し専門性及び教授力の向上に努めている。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等参加報告書 ・研修等参加申請書

項目5 教育環境

小項目	評価の基準	【評価結果の分析】	評定	評価の根拠資料
1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	本校舎は国の設置基準を満たした施設・設備であり、教育上必要な備品等を有している。	2	・竣工図、設備等図面 ・備品台帳
	②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	学習支援の環境として自習室を有しており、常時利用できるようになっている。また、学生ホール(学生ラウンジ)は2か所に設置されており、合計232㎡のスペースを有している。	2	・校舎図面
	③ 図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。	図書室には約8,000冊の蔵書があり、その多くは医学に関する専門図書で占められており、常時利用できるようになっている。また、図書の貸出も行っている。	3	・図書台帳
2 安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	学校安全計画を策定し、施設環境の点検、避難訓練等の安全指導等を実施している。	2	・学校安全計画
	②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	消防計画を策定し、防火管理者の下に予防管理組織を置くとともに、自衛消防組織を編成し消防訓練を実施している。	2	・消防計画 ・消防訓練実施報告書
3 施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	施設設備等の巡回点検、定期点検を実施するとともに、施設設備に安全上の支障がある場合には補修工事等を実施している。	2	・ビル管理報告書
	②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	施設設備の営繕管理のため、対応年数等を勘案した上で大規模修繕計画を策定し、単年度事業計画において予算を確保し適切に実施している。	2	・大規模修繕計画 ・工事完了報告書

項目6 教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目	評価の基準	【評価結果の分析】	評定	評価の根拠資料
1 中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	事業計画において中長期的な運営方針を掲げているが、具体的な実行計画への関連を示せていないため令和7年度より改善を行う。	1	・学校運営方針 ・事業計画書
	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	姉妹校の校舎建替に係る一時的な経費支出等により当年度収支差額はマイナス超過になっているが、純資産比率が高く流動資産を十分に確保しているため中期的に財務基盤は安定している。	2	・財務諸表
2 学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	学校運営の組織体制は寄附行為を始めとする内規に規定するとともに、諸規程に基づいて運営されている。会議の運営記録は議事録として保管している。	2	・寄附行為、組織及び運営規程、業務分掌規則 ・会議録、原議書
3 学校評価の実施と改善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会を開催し、外部委員による提言等を踏まえ教育活動の見直しや改善を行っている。	2	・議事録 ・学校関係者評価報告書
	①-2 特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。【注）職業実践専門課程】	教育課程編成委員会は年2回以上開催し、その結果は議事録に保存している。	2	・教育課程編成委員会議事録
	②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	学校評価を実施し、その結果や改善状況等をホームページに公表している。	2	・学校関係者評価報告書
	③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	学校評価の結果に基づき、学校運営及び教育活動の課題を抽出した上で、重点目標として課題の改善に取り組んでいる。	2	・自己評価報告書 ・学校重点目標
4 社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	専修学校における情報提供等への取組に関するガイドラインに基づき学校情報をホームページに公表している。	2	・情報開示資料
	②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいること。	関連団体等との学術交流や研修会、ボランティア活動等を通じて社会的認知向上を図るとともに、教育資源を生かした公開講座、学校行事の開催、会場貸し等を行っている。	2	・学術交流会場貸 ・チャリティー鍼灸